

茨城県畜産大賞(技術開発部門) で最優秀賞!

市内の(株)草木ファームが(公社)茨城県畜産協会主催の茨城県畜産大賞(技術開発部門)で最優秀賞を受賞されました。同社は旧里美村にTMRセンター(混合飼料生産施設)を整備。肉用牛繁殖経営では全国的に珍しい粕類などの未利用資源を活用した取り組みが評価されました。



市長に受賞報告をする
(株)草木ファーム代表取締役の鈴木一郎さん(右)

おめでとうございます 高齢者叙勲 受章

高齢者叙勲(令和元年7月1日発令)受章者が発表され、高萩市では金澤和夫さんが受章されました。ご功績に敬意を表し心からお祝い申し上げます。

瑞宝双光章 —地方自治功労—

かなざわ かつお
金澤 和夫さん
(高萩 88歳)
元高萩市収入役



金澤和夫さんは昭和27年に旧高岡村職員に採用され、昭和29年の町村合併により高萩市職員となり、39年の長きにわたり地方行政に尽力されました。また、平成3年からは高萩市収入役に就任し、本市産業の基盤となる事業推進のため健全な財政運営に尽力されました。

地域おこし協力隊 3年間お世話になりました!

2016年8月1日より花貫フルーツほおずきをはじめとした食用ほおずきの産地化に向けた活動をしてきた3名の地域おこし協力隊員が2019年7月31日をもって3年間の委嘱期間が終了となりました。それぞれの隊員が3年間を振り返ります。



きたもと つよし

◆ 北本 剛 隊員

高萩市に来て3年間、「花貫フルーツほおずき倶楽部」と「花貫物産センター」、大能地区の関係者の皆様には大変お世話になり、ありがとうございました。協力隊ということでしたが、協力するより協力していただく場面も多く、大変ありがたく思っています。3年前の面接の際に「私はスーパーマンではないので、過度な期待はしないでほしい」と言ったことを思い出します。てっきり不採用と決め込んでいたのですが採用となり、これは運命的なチャンスだと思いました。有言実行、実際に目立つ活動より、地域の皆様のお役に立てればというつもりでやってきました。まずは無事に終える事が目標でありましたが、これもひとつの通過点と思っています。これまでが準備期間とすれば、これからが実行の時期と言えます。今後も高萩市に残り、大能地区を中心に活動していくつもりです。どうぞよろしくお願いいたします!



ささかわ ゆうや

◆ 笹川 雄也 隊員

私は協力隊になる前から新規就農し、農業を基盤として飲食、宿泊、加工、小売など、仕事の幅を広げていきたいという明確なビジョンを持っていました。しかし、協力隊は「ボランティアの人、お助け隊」のようにしか捉えられていない側面もあるため、協力隊として地域おこしをするのであれば明確な目標を持っていること、自分の持つスキルで自分が出来る事が明確であるということが重要だと思えます。この3年間、私は自分自身のブランディングを考え進んできました。自分自身が常に魅力的であること、そして行政、地域住民の方と連携し三位一体となったところに地域おこしが成されるのだと感じております。今後も高萩市に定住し、活動を続けていきますのでよろしくお願いいたします。

ささかわ みな

◆ 笹川 美奈 隊員

着任当初より、食用ほおずきの生産量拡大やハウス栽培による周年出荷、加工品の開発、販売による利益の確保などの重要性を考え、現在まで計画的に進めてきました。地域おこし協力隊に着任するまでも、会社を退職後は枠にとらわれず興味があること、やってみたいことがあれば行動に移すことで自分自身の新たな可能性を見出し、経験も積んできました。また、地域おこし協力隊として活動してきたことで、やるべきことが明確になったと感じております。高萩市に移住して3年が経ちましたが、この3年間をしっかりと計画的に過ごすことで、今後の定住に向けた準備が出来たと思います。任期終了後もぜひ応援よろしくおねがいします。

